

公立病院経営強化プラン（当該病院の果たすべき役割・機能等）の概要

施設名	鬼北町立北宇和病院												
所在地	鬼北町大字近永455番地1												
経営強化プランの対象期間	令和 6 年度 ~ 令和 9 年度												
許可病床数(床)		一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	計						
	開設許可	55	45	0	0	0	100						
	使用許可	55	45	0	0	0	100						
R2年度から休床													
機能別病床数(床)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	計						
	R4年	0	21	34	0	45	100						
	R7年	0	21	34	0	45	100						
	R9年※	0	21	34	0	0	55						
※プランの最終年度における当該公立病院の機能ごとの病床数													
令和7年(2025年)以降において担う役割		がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	感染症	在宅	計
	R4年										○	○	2
	R7年										○	○	2
	R9年※										○	○	2
(その他の内訳及び補足等)													
※プランの最終年度における当該公立病院の機能ごとの病床数													
※R8年以降に病床機能の見直し予定がある場合は、見直し後の見込みを記載。													
地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能	令和5年度（2023年度）から急性期病床55床のうち34床を地域包括ケア病床（回復期病床）へ機能転換を行い、急性期治療後の患者及び自宅で病状が悪化した患者の入院受け入れや入院患者の在宅復帰支援を行い、他の医療機関・施設との連携強化により、地域包括ケアシステムを一層推進する。												
地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割	鬼北町をはじめとする一次医療圏域における公的な基幹医療機関として、各診療所への医師派遣や外来・入院機能を維持しながら内科、整形外科を中心としたプライマリ・ケアの提供を行うとともに、入院患者の受け入れ、在宅医療を支えるための拠点的作用を果たす。 また、町立病院設立時から訪問看護ステーションを設置し、医師や医療専門員、ケアマネジャーと連携しながら訪問看護サービスを提供している。												

機能分化・連携強化の取組	<p>北宇和病院はへき地拠点病院であるため、常勤の医師がいない町内の診療所へ医師を派遣し診療所運営を支援するとともに、北宇和病院で対応できない患者等については、地域の基幹病院である市立宇和島病院へ紹介し、急性期病院で治療後の患者の入院受入・在宅復帰の支援を行い、急性期病院との機能分化を明確にし、連携を強化する。</p> <p>また、「地域連携室」の機能を十分に生かし、関係機関との連携をより強固にし、北宇和病院が医療・介護・福祉・保健の中心的医療機関としての役割を果たしていく。</p>
医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標	<p>入院・外来の手術件数を120件を目標とする。</p> <p>訪問看護患者数を現在より200人増の4,500人とする。</p> <p>紹介率・逆紹介率の数値を維持する。</p>
住民理解のための取組	<p>医療や健康増進・在宅医療等の基礎的な知識や対応などについて、健康づくり講演会を開催するとともに、職場体験実習、町広報誌・ホームページ等による情報発信を通じて、開かれた病院を目指す。</p> <p>プランの点検・評価に関しては町立病院の代表者、有識者等で構成される点検評価委員会において、点検・評価を行い、進捗・達成状況等についてはホームページにおいて速やかに公表する。</p>

※いずれも、経営強化プランに記載予定の内容を記入すること